

## 別紙 令和2年度に東京開催が決定した会議

### (1) ACTA 2021 TOKYO (7<sup>th</sup> Asian Conference on Tumor Ablation)

会期：2021年10月15日～17日（3日間）

参加人数（予定）：約1,000名

会長：椎名秀一郎（順天堂大学大学院医学研究科 消化器画像診断・治療学 教授）

主催：Asian Society of Tumor Ablation（国際団体本部所在地：韓国・ソウル）

概要：ラジオ波焼灼術（RFA）、マイクロ波焼灼術（MWA）、凍結療法

（cryoablation）等すべての種類のアブレーションの基礎研究や臨床応用に関する発表と議論がなされ、また、肝臓や肺、甲状腺、腎臓、骨、軟部組織等すべての領域のアブレーションに対する検討がなされる医学系学術会議。

アジアの各都市で毎年開催されており、日本での開催は2015年の福岡大会に続き2回目。

### (2) 2022年 Clarity 国際会議

会期：2022年9月中旬（3日間）

参加人数（予定）：約500名

主催：Clarity International（国際団体本部所在地：アメリカ・ミシガン州）

URL：<http://www.clarity-international.org/>

概要：2024年にISO（国際標準化機構）が標準化を策定するプレインランゲージ（法律・ビジネス・教育・医療分野等）の円滑なコミュニケーションの推進と研究・取組成果を共有する国際会議。日本では初の開催。

### (3) APMP総会及び関連会議

会期：2022年11月24日～12月2日（9日間）

参加人数（予定）：約400名

主催：Asia Pacific Metrology Programme（国際団体本部所在地：中国・北京）

URL：<http://www.apmpweb.org>

概要：アジア太平洋地域の計量標準の水準向上を目指し、計量に関わる専門家が最新の研究成果の発表や情報交換等を目的として毎年集まる。

アジアの各都市で過去36回開催。

※会期順に掲載しています。

※実際の会期、参加人数は変更の可能性があります。

